

平成25年度第6回川崎区区民会議みんなのまちづくり部会摘録

日 時：平成26年2月25日（火）午後6時30分

場 所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 7名

藍原晃、新井一成、岩瀬絹代、寺尾宇一、戸村正房、吉野智佐雄、米山実

参与 0人

傍聴 0人

1 開会

(1) 事務局

- ・ 会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明
- ・ 配付資料の確認
- ・ 区事業のご紹介・ご案内（別紙チラシ等で紹介）

シニアパワー事業 川崎港魅力案内ツアー

川崎区まちづくりクラブ活動発表会（3月18日～20日）

外国人市民の健康診断と相談会（区から防災・防犯の情報提供コーナー設置予定）

シニアファッションショー（各区からシニアが参加、3月20日開催）

(2) 部会長あいさつ

2 議題

(1) 審議事項

ア 第4期最終報告書（案）について

資料1に基づき、最終報告書案が示され、内容の確認、意見交換を行った。主な付加説明・意見・指摘は以下のとおり。

■提案：海拔表示板の設置

事務局 海拔表示板は各町内会に配布を始めているが、設置についてはまだ地域差がある状況の為、「順次設置」という表記とした。

藍原部会長 表示版を話題にしている人を地域で見かけた。今期の成果の一つだ。

■「防災出前講座」の開催

事務局 2月8日に予定されていた東門前小学校の避難所開設訓練の中での防災出前

講座は、雪のため中止になった。一方、3月26日に予定されている殿町小学校での防災出前講座についての記述を付加した。

■外国人市民を対象とした防災訓練の実施

藍原部会長 私の地域にも韓国の方がいるが、地域にいろいろと協力やご寄付などをいただいている。

寺尾委員長 2月21日に国際交流協会が外国人を対象とした防災イベントを開催した。今年は専修大学デザイン課の学生が来て、誰もがわかり易い災害時の掲示のデザインを考えたとすることで、NHKにもその日に取り上げられ、放送された。

新井委員 防災に対する関心の低い外国人市民にも教えていくようなしくみが必要だ。

事務局 市民向けの防災資料「備える 川崎」は「やさしい日本語版」などもつくられていて、外国人市民が役所に転入手続きにくる機会を捉えて情報提供している。

新井委員 個人情報の問題はあるが、案内を個別送付したり、町会の人が存在を把握して、直接声をかけるようなしくみが必要ではないか。

藍原部会長 外国人に限らず、近所に新しくワンルームマンションなどができると、どんな人が住んでいるのか、わからない状況だ。

事務局 逗子市で発生した事件を、受け個人情報の扱いはむしろ厳しくなっており、本人でも電話上では情報提供ができなくなっている状況だ。

ワンルームマンションについては、学生などが実家から住民票を移さずに住んでいるケースもある。そうすると役所や地域はなかなか把握できず、大家さんや管理人しか知らないことになる。外国人は法律上、住民登録が必須となっている。

米山委員 専門学校など川崎区に通ってきている外国人の方も多。学校や職場など社会との接点を通じた情報提供も必要だ。

岩瀬委員 先日の大雪では、国道で立ち往生した方たちに対して近隣住民で炊き出しをしたというようなニュースがあった。災害発生時に困った人を助けられる準備を地域で進められると良いと思う。

藍原部会長 地域のフィリピンの方に神社の節分のことを教えたら、子ども一緒に参加してくれた。近所の人着物を提供したり、一緒に豆をまいたり、お祝いをしたら、「20年日本にいるがこんなに楽しいことはない」と涙を流して感激してくれた。

■新バス路線の提案

藍原部会長 路線ニーズが十分現れなかったアンケート調査の結果を受け、これまでの苦労やご意見等はあるが、前期から4年間検討してきた経緯も踏まえ、バス路線に

関する区民会議としての討議はひとまず打ち切りとしたい。

戸村委員 採算前提の考えばかりではなく、福祉サービスなどの視点から判断することも必要だという思いがある。

米山委員 ラゾーナができたことによって大きく駅周辺が変わったように、今後まちが変わってくればバスの路線ニーズも変わってくるだろう。今回の調査結果等は今後も参考になるものだ。

新井委員 アンケートで曜日別のニーズを把握するような設問があればもう少し詳しい状況がわかったかもしれない。

藍原部会長 通勤・通学目的があまり無く、買い物や病院などの利用ということで固定客があまり望めないという結果だった。

戸村委員 利用時間帯を尋ねた設問への回答で、朝や夕方方の利用意向があまりないということで、一般のバス路線とは違った形の運行も考えられるのではないかと。

寺尾委員長 娯楽施設、福祉施設などで、直通的なバスを持っている事例もある。

戸村委員 自由回答などで、駅集中型への不満がいくつか表れていた。乗り継ぎ料金の見直しや区内同一料金の定期券の導入など、料金面の工夫や見直しも考えられる。

事務局 市営バスには、400円の日パスがあるが、臨港バスの路線との接続は行っていない。どちらの路線にどれだけ乗ったか、利益の配分が難しく、その為のシステム導入には多大な費用がかかると考えられる。

寺尾委員長 今年度は十年に一度の大師様のご開帳があるが、警備体制や特別バスの運行などは準備が進められている。

吉野委員 京都市などバス会社が異なっても一日利用券などが使えるケースはある。

※ 新バス路線に関する討議の今期での打ち切りについて再確認した。

※ その他報告書中の文章表現のわかりにくさや不統一性、誤記等について数点委員から指摘があり、校正することとした。

イ 川崎臨海部コンビナートの安全情報「出前講座」について

- 3月26日午後3時から殿町小学校体育館で出前講座を開催する。
- 周辺地域の住民を対象に現在の臨海部の津波対策・火災対策などの取組などを話す予定。区としては今後も継続的に、要請のあった地域で展開していく考えである。例えば町内会会合などある程度地域の方の人数が集まる会合であれば、どん

んで向いていく。

(2) その他

■北沢副区長あいさつ

- みなさんのご協力、討議で良い報告がまとめられたと感じている。
- 先週金曜日に福田新市長の区民車座集会在川崎区で開催(市内2区目)された。前回の麻生区が定員以上の応募があり、傍聴者もたくさんいたが、川崎区では定員30人に対し参加18人、傍聴9人であった。子育て、教育などの話題が出され、路上喫煙禁止の表示が自立たないとの発言を受け、「早速現場を見に行く」という市長の発言もあった。

(以上)